

1-2 年齢3区分別人口と諸指標の推移

各年10月1日現在

	年齢3区分別人口(千人)				年齢3区分別人口構成割合(%)			
	総数	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)	総数	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)
昭和25年(1950) ¹⁾	83,200	29,428	49,658	4,109	100.0 ¹⁾	35.4	59.7	4.9
昭和35年(1960)	93,419	28,067	60,002	5,350	100.0	30.0	64.2	5.7
昭和45年(1970)	103,720	24,823	71,566	7,331	100.0	23.9	69.0	7.1
昭和55年(1980) ¹⁾	117,060	27,507	78,835	10,647	100.0 ¹⁾	23.5	67.4	9.1
平成2年(1990) ¹⁾	123,611	22,486	85,904	14,895	100.0 ¹⁾	18.2	69.7	12.1
平成7年(1995) ¹⁾	125,570	20,014	87,165	18,261	100.0 ¹⁾	16.0	69.5	14.6
平成12年(2000) ¹⁾	126,926	18,472	86,220	22,005	100.0 ¹⁾	14.6	68.1	17.4
平成17年(2005) ¹⁾	127,768	17,521	84,092	25,672	100.0 ¹⁾	13.8	66.1	20.2
平成18年(2006)	127,770	17,435	83,731	26,604	100.0	13.7	65.5	20.8
平成19年(2007)	127,771	17,293	83,015	27,464	100.0	13.5	65.0	21.5
平成20年(2008)	127,692	17,176	82,300	28,216	100.0	13.5	64.5	22.1
平成21年(2009)	127,510	17,011	81,493	29,005	100.0	13.3	63.9	22.8
平成22年(2010) ¹⁾	128,057	16,803	81,032	29,246	100.0 ¹⁾	13.2	63.8	23.0
平成23年(2011)	127,799	16,705	81,342	29,752	100.0	13.1	63.6	23.3
平成24年(2012)	127,515	16,547	80,175	30,793	100.0	13.0	62.9	24.1

	指数			
	年少人口指数	老年人口指数	従属人口指数	老年化指数
昭和25年(1950) ¹⁾	59.3	8.3	67.5	14.0
昭和35年(1960)	46.8	8.9	55.7	19.1
昭和45年(1970)	34.7	10.2	44.9	29.5
昭和55年(1980) ¹⁾	34.9	13.5	48.4	38.7
平成2年(1990) ¹⁾	26.2	17.3	43.5	66.2
平成7年(1995) ¹⁾	23.0	20.9	43.9	91.2
平成12年(2000) ¹⁾	21.4	25.5	46.9	119.1
平成17年(2005) ¹⁾	20.8	30.5	51.4	146.5
平成18年(2006)	20.8	31.8	52.6	152.6
平成19年(2007)	20.8	33.1	53.9	158.8
平成20年(2008)	20.9	34.3	55.2	164.3
平成21年(2009)	20.9	35.6	56.5	170.5
平成22年(2010)	20.7	36.1	56.8	174.0
平成23年(2011)	20.5	36.6	57.1	178.1
平成24年(2012)	20.6	38.4	59.0	186.1

資料 総務省統計局「各年国勢調査報告」「平成24年10月1日現在推計人口」

1) 総数には年齢不詳を含む。また、年齢3区分別人口は、年齢不詳を按分した人口は用いていない。その構成割合は、年齢不詳を除いた人口を分母として算出している。

2) 昭和45年までは沖縄県を含まない。